



「そろえる」ということ

はきものをそろえる

はきものをそろえると心もそろろう

心がそろうとはきものもそろろう

ぬぐどきにそろえておくと

はくどきに心がみだれない

だれかがみだしておいたら

だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと

世の中の

人の心もそろうでしょう



上の詩は、長野市の円福寺というお寺の住職だった藤本幸邦さんがつくった詩です。きっと、見たことがある人も多いと思います。

「はきものをそろえる」ということは、心を一つのところに集中することであり、準備するということです。そして、心を整えて、次の取りかかりに気持ちをそろえていくことにつながります。このことは、すべてのことに通じるものだと思います。学習の準備も同じです。授業が始まる前に必要なものをきちんとそろえておくことができれば、心構えがしっかりとできて、授業に集中することができ、学習内容が身につきます。

私は、自分のはきものをそろえることができる人は、「自分の行動を冷静に考えることができる人」だと思います。そして、「まわりの人がどのような気持ちになるかも考えることができる人」だと思います。そのような人は、「他の人が乱したはきものでも、だまってそろえることができる人」でもあると思います。そんな気持ちが広がっていけば、きっと、三豊中学校は温かい学校になっていくでしょうね。

あなたのくつ箱は、どうなっていますか？

<書面決議の結果のお知らせ>

先日お配りしたPTA総会資料につきまして、書面決議をさせていただいたところ、会員数372名に対して、すべての議案について賛成が過半数を占めましたので、原案どおり承認されましたことをご報告いたします。

<三中生のちょっとした話>

先日、通級指導に来てくださっている中部中学校の大西先生と話をしている中で、「三豊中学校の生徒は、多くの方が自分からあいさつしてくれてとても素晴らしいですね。」とほめてくださいました。ありがたいことです。日本経団連の調査では、企業が採用において重視するポイントとして、10年以上にわたって「コミュニケーション力」がダントツ1位です。高校の先生方と話していても、自分からあいさつできる人の印象はとていいとよく聞きます。自分からあいさつができるって、素晴らしいですね。